

DRARTNER

SHIP

第4回全体研修会

開催日 平成20年1月26日(土)

開催場所 大宮法科大学大学院ビル 佐藤栄太郎記念講堂

第4回全体研修会は市民公開講座も兼ねていたため、一般の方々も参加され、座席が足りなくなるほどの盛況ぶりでした。

今回のテーマは脳卒中について

- 1 脳卒中の予防…さいたま赤十字病院 神経内科 山本健詞先生
 - 2 脳卒中の急性期治療…埼玉医科大学 国際医療センター 棚橋紀夫教授
 - 3 脳卒中の社会復帰へ…自治医大さいたま医療センター 木棚究先生
- 埼玉精神神経センターの丸木雄一先生を座長にそれぞれ貴重なお話をいただきました。

脳卒中は必ずしも死に至る病気ではありませんが、後遺症が残り、寝たきりに

なる原因の第1位なので、危険因子を減らして発病しないことが大切です。そのためには高血圧、喫煙、糖尿病、心臓細動、飲酒には特に注意が必要です。もし、脳卒中になったら、まずは病院へ。血栓を溶かすTPAの治療を受けるには2時間以内に救急搬送し、病院に到着することが必要だそうです。現在、急性期病院では治療の際、多職種が情報を共有し合えるようクリティカルパスが活用されています。また、転院時には急性期病院とリハビリ病棟の連携に役立つような地域連携パスの利用が検討されているということです。社会復帰に向けて、医療と福祉の連携がますます重要視されていることを実感しました。



西区、大宮区合同研修会

開催日 平成20年3月21日（金）午後3時半
開催場所 特養はるばてお

平成十九年度最後の研修会については、当初区独自で医療関連の計画がありました但最终的に、西区大宮区合同のケアマネジャー懇談会開催となり、様々な情報の交換と各ケアマネジャーが抱えている問題についての話し合いの場をもつこととなりました。話題は多方面に亘りましたが、

・ 研修制度について、またその費用について

・ 後期高齢者医療保険制度について、名称、制度の問題点について

・ 派遣社員として働いている介護職員、看護職員の状況について

・ 新規施設の設定状況について

・ 介護職員の定着率について

・ ショートステイとデイサービスの相互利用の可能性について

・ 情報の公表制度がスタートして現場での受け止め方はどうか

等々、どれを取っても切実な話題であり、また困難な状況を含んでいる問題ばかりでありました。当日の出席者数が十一名でしたので、普段は言いにくい本音に近い話なども交換でき、一年間の締めくくりとして



は心とむ懇談会となりました。大きな問題であったコムスの、その後どんな変化があったのかなかったのか、介護行政が機能しているのかしていないのか、現場からの貴重なお話もありました。介護保険のなかでのケアマネジャーの位置付けはどう考えたらよいのか、……話は尽きませんでした。

（西区広報委員 大矢）

第2回 緑区ケアマネサロン

開催日 平成20年3月30日（金）



平成20年3月30日（土）のうらかな春の午後、桜がほぼ満開の中。車で40分のドライブを楽しみながら「グッドタイムリビング埼玉蓮田」へ見学へ行ってきました。参加者は8名！

入居金 六百万円。月々 23〜24万円という、ちょっとお高い施設：いや「ゲストハウス」



（老人ホームや施設とは呼ばせないとのこと）は、本当にホテル並みの設備とサービスを誇る素晴らしい所で、参加者から出るのはため息ばかり……。こんなステキな所で暮らす老後を見えるならば、しっかり今から貯蓄をしなければと参加者の意見が一致し、帰路についたのでした！

ここに空スペースができます。どのように対応しましょうか？

例えば、お勧めの書籍や、告知板などの埋め草を入れてもいいと思います。

平成19年度第3回浦和区ケアマネサロン

（訪問看護ステーション交流会）

開催日 平成20年3月22日（土）13：30～
開催場所 すこやかプラザ4階会議室

ケアマネージャーと訪問看護ステーションとの連携を深めることを目的に、旧与野市と旧浦和市の協会会員と訪問看護ステーション（主に所長）の50名が集まった。

始めに、さいたま市の年金医療課 須田哲也氏による“後期高齢者医療制度説明会”を開催した。

さいたま市の後期高齢者医療のパンフレットを参考に制度の仕組みや財源、軽減措置等、また、全国的な傾向や県全体の自治体の傾向も織り交ぜられ、さいたま市の制度への考え方を学び、質疑応答ではすでに現場で質問を受けているケアマネージャーや訪問看護ステーションからマニアックな質問が続き、内容の濃い講義が約80分間行われた。

その後は、コーヒーやクロワッサン等が振舞われ、ケアマネージャーと訪問看護ステーション参加者でグループワークを行った。

ありがちな事例（フィクション）をもとに、
①緊急時訪問看護の対応 ②訪問看護指示書への考え方 ③医療保険給付における訪問看護とケアマネージャーとの連携 ④難病の方への関わり方が主な話し合いの材料となった。

各グループに訪問看護ステーションの方々交わっていた為、その事例に対する訪問看護ステーションの方からのエビデンス

の説明やお互いの本音が飛び交い、話が脱線したりして和気あいあいとしたグループワークとなった。ケアマネージャーには、その“脱線話”が非常に勉強になった。

平成20年4月1日からスタートする後期高齢者医療制度に備え、在宅医療に恵まれたこの地域で、いかにケアマネージャーと医療との連携を強化できるか、改めて考えさせられる機会となった。



第3回 南区ケアマネサロン

開催日 平成20年2月13日
開催場所 本太公民館

今回は、明医研デュエット内科クリニック院長の福本俊氏とケアメイト訪問看護ステーション管理者の原田雅子氏をお迎えし、「医療との連携について」「訪問看護との連携について」をテーマにお話を頂きました。

福本氏より、今後、日本は健康寿命、平均寿命とも世界一であると共に世界に類をみないスピードで高齢化が進行する。特に埼玉県は2015年では全国1の増加率である。一般国民で6割の人は死期が迫っている場合、自宅での療養生活を希望しているが、実際は自宅での療養は困難と考えている人が一般国民で5割もいる。今後、在宅療養を行えらるるためにも、在宅療養支援診療所と各サービス事業所と連携を図る必要があるという話を頂きました。

また、原田氏より訪問看護の利用方法、訪問看護の内容と役割、訪問看護から見た理想のチーム医療、医療依存の高い患者の退院から在宅までの手順についてお話を頂きました。

訪問看護STからケアマネへ、医療保険での訪問看護の場合でも予定確認のために利用票は送って欲しい、看護師から見たケアにおいて、福祉用具導入に関しては、出来るだけ早く対応をして欲しいと要望がありました。

最後の質疑応答では、サービス担当者会議の案内、照会を主治医に出すが戻らない事が多いが、どのようにしたら良いかとの質問には「往診の場面で担当者会議を開いてくれれば有難い、利用者の外来に着いて来てても良い」とのことでした。

岩槻区・見沼区合同サロン

開催日 平成20年3月15日(土)
開催場所 岩槻駅東口コミュニティセンター

今回は、「各在宅事業所との情報交換」をテーマに訪問看護ステーションまごころの碓井政子氏、フラ

ンズベッドメデイカルサービスの井上清司氏にご参加いただき、2グループに分かれて意見・情報交換を行いました。

今回は、「各在宅事業所との情報交換」をテーマに訪問看護ステーションまごころの碓井政子氏、フラ

ンズベッドメデイカルサービスの井上清司氏にご参加いただき、2グループに分かれて意見・情報交換を行いました。

実際のケースを取り挙げながら活発な意見が交わされ、訪問看護をケアプランに位置づけるときの目的や、主治医・開業医との連携のあり方、指示書を書いていただく方法など具体的なアドバイスをいただきました。

福祉用具ではベッドでマットの上に布団を敷く利用者さんなど、間違った使い方をしているケースや電動車いすの事故の要因として使用規程の法的整備が遅れている



でお互いの距離も縮まり、より連携しやすい環境が整ったのではないかと思います。

が必要と思うケースや、福祉用具を導入する際できるだけ情報をいただきたいなど、それぞれの視点での意見は気付きかされることも多く、今後の担当者会議の方法やケアプランの内容について参考になりました。

最後に一人ずつ感想を聞き、「疑問・悩みが解消できた」「今回は困難事例についてもテーマにしてほしい」などの意見がありました。実際に現場の意見を聞いた顔を合わせることで

高齢者賃貸住宅の現状を、センター長、原英彰氏よりお話頂きました。

高齢者賃貸住宅の利点としては、①高額な一時金が必要なく、年金の範囲内で利用できる料金設定で、気軽に住み替えができる。②夜間の緊急対応コールの受付、その他3度の食事、1日1時間のレクリエーション、入居者からの情報等で在宅サービスでは補えない見守りの部分のサービスが提供できる。

また、こちらの施設では単独の高齢者住宅とは違いデイサービス、訪問介護も併設しているので閉鎖的にならず、地域や外部の人達と自然な流れで交流を深める事ができるとい

う特色があります。現在、平均介護度は要介護2ですが、オムツ交換の必要な方も数名いるそ



うです。

終の棲家ではなく、2年で契約更新となり在宅に復帰される方、特養、老健等施設に入所される方など様々ですが、住み替えについてはスムーズに移行できるような支援体制もあるとのことでした。ひとり暮らしが難しくなった高齢者にとって誰かがそばに居る安心感があり、需要が高いようです。

今後、高齢者の用途や要望にあわせた特色のある施設が増えれば、介護サービスをもっと自由に選択できるようにするのでは?等意見も上がりました。

施設見学後は、場所をかえて意見交換会を開き、次年度の要望など活発な意見が飛び交いました。

第3回中央区・桜区ケアマネサロン

開催日 平成20年3月29日(土)
開催場所 複合型ケアセンター ジュネスライフさいたま中央

平成19年 第3回施設介護支援専門員研修

開催日… 平成20年1月19日(土) 13:30～17:00

場所… 埼玉精神神経センター(中央区)

テーマ… 「ICFの視点」介護者に必要な視点をやしなおう」

内容… 講義と演習

ねらい:「その人中心の介護」の実現を目指してICFの考え方を理解する。

ICFの視点を活かしたアセスメントを展開するということとは具体的にどうすることなのかを理解する。

講師… さいたま市認知症介護指導者

高齢者ケアセンターゆらぎ 寺岡 伸子 先生

今回は介護保険施設に従事する施設介護支援専門員および施設職員も対象に、オープン形式(有料)として実施。16名の参加がありました。

講義、個人ワーク(演習)、グループワーク(振り返り)の繰り返しを通し、日常生活の一場面を生活機能の視点で捉える訓練を行う事で、ICIDHの視点「医学モデル」とICFの視点「社会モデル」について整理し

て理解を深めることが出来た。また、ICFの流行により医学モデルが否定的に捉えがちなが、社会モデルと合わせた双方の視点を理解したうえで対象者を捉えることが重要である、ことに改めて気づく事ができた。

アンケートからも「医学モデル・社会モデルを統合して考える事が大切であることに気づいた」「ICFの視点は現場のプランにはまだまだ活かしきれ

ていない」といっている。また、定着させていけるように努力したい」「その人らしさ」をうたいながら介護者中心の介護をしてきた事に気づいた」「利用者との日々のかかわりで活用できる考え方など気づいた」などの意見が聞かれ、有意義な研修会となったようです。

平成19年 第4回施設介護支援専門員研修の報告

開催日… 平成20年3月8日(土)

場所… 浦和しづや苑(緑区)

テーマ… 『ICFの視点を活かしてケアプランを作ろう』

講師… 神奈川県立保健福祉大学 峯尾 武巳 先生

昨年9月に引き続き峯尾先生をお招きし、表記の研修会を開催した。介護保険施設に従事する施設介護支援専門員および施設職員も対象に、オープン形式(有料)として実施、21名が参加した。

用意した事例に基づき、ICFの視点によるアセスメントから長期目標、短期目標、具体策の設定と、実際に第1表・第2表の作成までを学習した。グループワークではセンター方式を活用してプラン作成のプロセスをしっかりと確認。クライア

ントの意向を実際に本人の言葉で書くことでニーズの抽出を図る演習を行った。

先生より、ケアプラン作成上達のコツは?とにかく書くこと、そこから手直し。出来あがったら人に見てもらおう」「初めからうまく書くことしない。目指せ、イチロー。3割で良い!」と印象的なお言葉を頂いた。

アンケートからは「(クライアンの)したいこと、できること探しの難しさを改めて感じた」「人と協力すること、相手のことを思いやる気持ちの大切さに改めて気づいた」などの感想から「ICFの研修を今後も継続して欲しい」「事例を使った研修を今後もお願いします」「施設のアマネと情報交換ができて参考になった」などの意見が聞かれた。また「今度うちの施設を会場に使ってください」と嬉しい意見も戴いた。

尚、今回一般参加された方から入会の申込があった。

ほのぼのさんぽ

世の中は春という季節らしい。花は歌い、鳥は踊り、猫は居眠りする季節らしい。気温は暖かくなっているのに、オイラの財布の中身は、いまだに北極並みの寒さを誇っている。財布の中身だけは温暖化が進んでほしいなあ…なんて事を思っても、カミさんには言えずにいる…そんなある日の事。カミさんとガキンチョが寝静まった丑三つ時に、家を抜け出し黒鯛が待つ海へと向かった。

「早朝だけ釣りして、昼には家にいて、午後は家族に尽くせば大丈夫！」と自分に言い聞かせて堤防に乗り込んだ。夜明けの堤防にはビッシリとオッチャン達が陣取っている。なんとか間を見つけオイラも戦闘体勢。やがて、すっかり日が昇り…

「釣れない！」と誰かが言った一言で、堤防に横の連携が生まれた。地元のオッチャンが「昨日は釣れた。」遠くから来てそうなオッチャンが「潮の流れが悪い。」何人かのグループで来ていたオッチャンは「お前が来

たから釣れない。」と仲間を野次る…などなど。

目的が同じ集団は、知らない人同士でも簡単につながる事が出来るという分かりやすい現象が、今、まさにココで起きている！！

※尚、釣人の釣れない言い訳は、アツと言う間に本が完成するくらい豊富である。

きっとオッチャン達は要介護状態になって、折り紙と磁石で作った魚を釣らされても満足しないに違いない…なんて考えていたら夕方になっちゃった！！

携帯には、カミさんからの着信 着信 着信…怒りのメールが怒怒怒怒怒…。最高に自由な休日は、一気に氷河期に突入！トイレにすら寄らず一目散！！

オッチャーンた〜ち！今度は釣れる日に会いましょ〜う！！ 来れたらね…

※帰宅後に、オイラに降り注いだ災難（自業自得？）については、ご想像にお任せいたします☆

編集後記

役員の皆さん、会員の皆さん、一年間お疲れ様でした。

平成20年度も引き続きよろしく願いいたします！

平成20年度も、「(社) やどかりの里 やどかり情報館(精神障害者福祉工場)」さんに広報誌出版をお願いしたいと思っています！！

今後ともよろしく願いいたします。

広報委員

事務局より

1. 平成19年度会費納入について

当協会の運営は会員様の会費によって運営されております。未納の方は大至急下記口座にお振り込み下さい。

郵便局口座 口座番号 10320 番号 76599611

加入者名 さいたま市介護支援専門員協会

※ 事業所名で振り込んだ場合、同事務所に複数の会員がいる場合特定できませんので会員名で振り込んでください。事業所名で振り込んでしまった場合は、振込日、事業所名・会員名を事務局までご連絡下さい。

2. 会員の住所・事業所等登録事項に変更があった場合や入会希望の場合は事務局までご連絡下さい。

さいたま市介護支援専門員協会 事務局 野崎・西間木

(財)さいたま市在宅ケアサービス公社内

電話番号 048-645-7470

FAX 048-645-7500

リニューアルしたので見てくださ〜い！！

ホームページ

<http://www.saitamashi-keamane.jp>